

有明海再生対策

令和8年度予算概算決定額 1：1,765百万円（前年度 1,765百万円）
2：1,000百万円（前年度 1,000百万円）

<対策のポイント>

有明海の再生に向けた**特産魚介藻類の調査や増養殖技術の開発、漁場改善対策の実証**を沿岸4県が協調して推進します。
さらに、令和7年度からの10年間を加速化対策期間とする**有明海再生加速化対策交付金**により、**調査や技術開発等の成果を活用し**、気候変動によって影響が顕在化しつつある**災害リスクなどにも対応しながら、漁業者による漁場環境改善や経営改善の取組等を支援**します。

<事業目標>

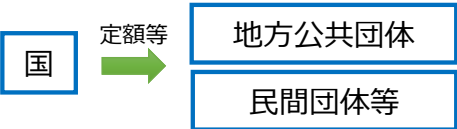
有明海におけるアサリの成貝資源量（5,000トン〔令和16年度まで〕）等

<事業の内容>

1. 調査・技術開発・実証 1,765百万円（前年度 1,765百万円）
有明海・八代海等総合調査評価委員会の「再生方策」に基づき、有明海沿岸4県が協調して、二枚貝類等の資源回復や漁場改善等の**各種調査等を実施**します。
① 特産魚介藻類の生息環境等の調査や実証
② 魚介藻類の増養殖技術の開発
③ 各地先に適合したアサリ等の技術開発等
④ 二枚貝類の餌料環境改善に向けた漁場整備実証 <公共>
2. 有明海再生加速化対策交付金 1,000百万円（前年度 1,000百万円）
漁場環境改善や経営改善、新技術導入といった**漁業者の取組を後押しする有明海再生加速化対策交付金**により、開門によらない再生の加速化に向けた**支援**をします。（令和7年度からの10年間（加速化対策期間）で総額100億円）

（関連事業）
水産基盤整備事業（水産環境整備事業） <公共>
養殖業成長産業化推進事業

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 調査・技術開発・実証
二枚貝類の浮遊幼生ネットワークによる再生産サイクルの形成に向けた4県協調の各種調査等を推進。

生息環境等調査

浮遊幼生の調査 等

技術開発

二枚貝類の種苗生産技術や藻類の養殖技術の開発 等

実証

二枚貝類の採苗・育成や食害等対策の実証 等

成果の活用

2. 有明海再生加速化対策交付金
▶ 漁場環境改善や水産資源の確保の加速化支援
二枚貝類の採苗・移植、食害防止対策、早期復旧対応、カキ礁・藻場造成 等
▶ 漁業者の経営改善・発展支援
共同利用施設等の整備、特産魚介類の販路開拓 等
▶ 新技術等の新たな挑戦支援
省力化技術、IoTシステムの導入、陸上養殖施設等の新技術導入 等

浮遊幼生ネットワーク
佐賀県地先 福岡県地先 熊本県地先 諫早湾地先 島原半島地先
← 幼生の供給
→ 自己供給
0 km 10 km

〔お問い合わせ先〕

(1 ①、2)	農村振興局農地資源課	(03-6744-1709)
(1 ②)	水産庁裁培養殖課	(03-6744-2385)
(1 ③)	研究指導課	(03-6744-2031)
(1 ④)	事業課	(03-6744-7136)